

施策番号	1601		
施策名	高齢者の尊厳を保つ社会の構築		
概要	世代を越えて支え合う社会の構築のため、長寿社会への理解と認識を深める取組を推進するとともに、高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関係する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数(件)	a	c	85	96	106	90.6%	b	1.00
2	成年後見支援センター利用者数(人)	-	-	3,907	4,840	4,807	100.7%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない	有効回答者数
1	高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実したくらしを送れている。	c	c	20 4.5%	132 29.7%	194 43.6%	65 14.6%	34 7.6%	445
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		c	c	市民生活実感調査総合評価					c

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					29 年度	B
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一部の高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						28 年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実が図れているものの、高齢者のくらしが充実したものとして、広く実感されていないことから、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、昨年度に引き続きc評価となった。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	軽費老人ホーム(ケアハウス)利用料補助	387,497	396,114	良い	保健福祉局
2	特別日用品費支給	23,677	25,559	良い	保健福祉局
3	短期入所生活介護緊急利用者援護事業	3,929	5,713	かなり悪い	保健福祉局
4	日常生活用具給付等事業	25,389	25,047	かなり良い	保健福祉局
5	家族介護用品給付事業	147,409	163,296	良い	保健福祉局
6	高齢者あんしんお出かけサービス～小型GPS端末機の貸出～	4,436	4,780	普通	保健福祉局
7	高齢外国籍市民福祉給付金支給事業	14,640	13,178	良い	保健福祉局
8	認知症高齢者等権利擁護推進事業	126,677	128,055	良い	保健福祉局
9	高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成事業	2,353	2,353	良い	保健福祉局
10	認知症あんしん京(みやこ)づくり推進事業	9,444	10,349	良い	保健福祉局
11	高齢者虐待防止事業	8,328	8,329	良い	保健福祉局
12	虚弱高齢者等入浴支援モデル事業助成	80	252	かなり良い	保健福祉局
13	高齢者虐待シেলター確保事業	1,979	2,168	悪い	保健福祉局
14	～地域で気づき・つなぎ・支える～認知症総合支援事業	34,246	67,646	良い	保健福祉局
15	認知症疾患医療センター運営事業	0	3,903	－	保健福祉局
16	京都市長寿すこやかセンター	204,286	204,554	－	保健福祉局
17					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後とも成年後見制度の普及・啓発に取り組むとともに、関係機関・団体と連携しながら、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援など、権利擁護対策を積極的に推進し、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいく。

施策名	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築				
-----	------	----------------	--	--	--	--

指標名	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）					
-----	----------------------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3 - 5 8 7 1		
-----	---------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

成年後見制度の利用が必要な身寄りのない重度の認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数

2 指標の意味

判断能力が不十分な認知症高齢者のための権利擁護の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における申立件数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	85	96	11件増	106	過去5年間の申立件数最高値の1%増	90.6%

	全国順位	中長期目標				備考	(参考：過去5年の申立件数) 24年度 86件 25年度 97件 26年度 102件 27年度 105件 28年度 85件
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		119	37年度	80.7%	本市として達成すべき数値		

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度利用に係る市民ニーズに対応するため、当面申立件数を増加させる必要があることから、目標値の100%以上をaとし、以下10%刻みで基準を設定した。
最高値：105件（平成27年度）

7 評価結果

28	29	30
a	c	b

指標名	成年後見支援センター利用者数（人）					
-----	-------------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課		連絡先	2 1 3 - 5 8 7 1		
-----	---------	--	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

成年後見制度を必要とする方の発見から利用までの一貫した支援を行う成年後見支援センターを利用した方の実人数

2 指標の意味

成年後見制度の利用を必要とする方に対する支援の推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	3,907	4,840	933件増	4,807	32年度の目標値達成のために当該年度達成すべき数値（毎年3%増）	100.7%

	全国順位	中長期目標				備考	累計に変更 H24～H28までの累計値 3907 H29 900（プラン策定時見込数値） H30 927=900×1.03 H31 955=927×1.03 H32 984=955×1.03
		数値	目標年次	達成度	根拠		
数値		7,673	32	63.1%	第7期京都市民長寿すこやかプランに掲げる目標値		

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度に対する市民ニーズに対応するため、「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に定める目標値を達成する必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
-	-	a